

What is success

成功を再定義してみる

田辺です。

前回のレポートでも成功について話しましたが改めてここで再定義してみましょう。物事を達成するために必要なこと、それは目標から逆算して設計図を組み立て素材を集めるということです。自分が好きになった女性と付き合えるようになりたい。そう思うのであれば、その目標から逆算した設計図を描くことが重要なのです。好きになった女性と毎回付き合えるような男性は、意識的か無意識的かは別として例外なく設計図を描き、そのプラン通りにことを進めていきます。

「偶然的な成功」と「必然的な成功」

成功には2つの種類があります。偶然的な成功と必然的な成功。この両者は同じように見えて全く違います。要するに狙って目標を達成したか、偶然その目標が手に入ったかということです。わかりやすく別の例で例えてみましょう。

トルコのイスタンブールを旅していた時のことです。街を歩いていてたまたま知り合ったトルコ人と仲良くなり、友達がジュエリーショップをやっているから少し行かないかという話になったのです。「ああ、いつものやつだ」と思い、「俺は宝石は必要ないからいかない。」という、別に買わなくてもいい。日本に住んでいたトルコ人が日本人が好きで連れて行くと喜ぶんだよ、と。時間もあったことだし、ならいいよ。ということで、宝石屋に行きお茶をいただいたのです。

オーナーの名前は「オマー」。そのオマーが話していたことなのですが、以前は日本人観光客がたくさん来てくれて、絨毯や宝石が飛ぶように売れた。それで、家が2件建った。でも、空港でテロが起こりそれが世界で報道されてから観光客がグッと減り、当然日本人も全く来なくなり、そこから連鎖するようにこの店の売り上げも減ってしまった。俺はこの店が好きだ。だから、今は赤字だけどそれを耐えるために家売って、その資金で店の赤字を補っている。このように話していたのが印象的です。

偶然的な成功を手にしても人は不安から逃れられない

僕から見るとオマーが手にしたひと時の成功は、偶然的な成功です。なぜ、そう言えるのか。それは、再現性がないから。成功のかなりの要素を外部に依存している状態なのでそれは狙って納めた成功ではありません。よって、必然的な成功からは程遠いのです。あなたも過去に自分が得た成

功体験を改めて考えてもらいたいのです。それは、偶然的な成功だったのか、必然的な成功だったのか。たまたま得られた結果なのか、自分で完全に狙って得られた結果だったのかを。

オマーがしなければいけなかったことは偶然的な成功に固執してしまい、そこにすがりつくのではなく、1回の成功体験で得た知恵を元に次は狙って成功を取めることでした。成功を分析していけば、テロで観光客が減り売上げが激減した時点で、店を売却して他の成功を必然的に狙っていくべきなのです。トルコリラの価値が下がりまくっている現状を見ると、オマーがこのまま店に固執してしまっていた場合、今後さらに見通しが悪くなっていくことでしょう。偶然的な成功はときに人を不幸にしてしまうことだってあるのです。

偶然できた彼女

なぜだかわからないけど、自分が好きになった女性とつきあうことができた。そんな経験はありませんか。普段は全然女性に受け入れられないのに、たまたま美人な彼女ができた。これには様々な要因があるのですが、これでは恋愛において幸せになれるとは限りません。なぜなら、この彼女と別れた後にどうやって、同じような美人女性を口説いていいのかわからないからです。

偶然、付き合いえた要素を分析していけばそれなりの要因はあります。彼女が彼氏と別れたばかりで心に大きな穴が空いていた。（女性が高い確率で惚れやすい場面の1つに、失恋中で傷ついているときがあります）他には、あなたが仕事や友人の付き合いにより多忙で、女性にがつくことがなかった。その女性と会う直近に何かの目標を達成したり、人に称えられることがあり自信に満ち溢れていた。このように偶然的な要素で彼女ができた場合、その裏で何かの必然的要素が働いていたということになりますが、そこを解析して次は必然的成功を狙う設計図の糧にしなければいけません。

本当の成功は10年の継続

何事もそうなのですが、本当の成功というのは10年以上その状態が続いていて初めて言える。と、本物の成功者は口を揃えて言います。特にビジネスの世界でよく見る現象なのですが、ネットビジネスでお金の稼ぎ方を教えるというプロモーションでいろんな胡散臭い人たちが出現します。僕自身ネットで情報発信をし始めたのが2006年なのでその時から、遠目で稼ぐ系メルマガを見ていたのですが、本当にコロコロと人が変わっていきます。僕が知っているだけでも10年以上ネットでビジネス活動ができている人は本当に数えられる程度です。

ネット業界にはびこるハリボテ達の実態

あなたが僕のメルマガを読んでいるということは、もしかしたらネットで稼ぐ系のメルマガも読んでいないかもしれませんので、少しここで補足しておきます。毎年、「これであなたも億を

稼げます！」「PCど素人の主婦がたった3ヶ月で100万円稼いだ方法を今だけ限定公開！」という痛いキャッチコピーとともにスーツを着用し、腕を組んでドヤ顔の画像をセールスライターに載せて登場するダサい人たちがいます。

ネットビジネス業界もテレビと同様に、毎年新しい芸人が登場して1年をたたくして消えていくわけです。そう、一発屋は偶然の成功を手にしてそれで終わるのです。なぜかという、それは狙って得た成功ではなく、たまたま得た成功を本当の成功と錯覚し、さらに自分の実力だという勘違いに気づかず、鼻がキノピオのごとくググーっと伸びてしまい、ブームの終焉と同時にその人の成功も終焉してしまうのです。

今後あなたが1つの基準として設けてほしいことは、何かを学ぶ、何かを問う人を選ぶときには、その人が10年間同じこと、その業界で成功し続けているか。それを尺度にしてもらえればブランド物というメッキを張り巡らせ、撮影用にスーパーカーをレンタルし、プロモーションで使う写真を撮るために本当は日本からあまり出ないのに、自由に海外を飛び回っています的な写真を意気揚々と公開するような「ハリボテ」達に騙されることはなくなると思います。

恋愛系の業界も例外ではない

先ほどは、ビジネス系で情報発信をしているハリボテ達の話をしました。恋愛業界の情報発信者たちはどうでしょうか。残念ながらあまりビジネス業界と変わらないと思います。僕が情報発信を始めてから、あまり関わらないよう遠くでそっと見ていますが、残念ながら恋愛の業界でも10年以上続けている人は数えるほどで残りの95%はビジネス業界と同じで偽物がはびこっています。

よくあるクライアントからの報告では、「LINEのテンプレート集」を実践してみたのですが、全く効果がなかったどころが完全に既読スルーされました。という報告もかなりもらった気がします。そういう表面的なノウハウを提唱しているメルマガ発行者本人がモテているのかというと、明らかにモテていないオーラが文章から出ているのです。本当に男として魅力がある人間は文章にもそれがにじみ出ます。ニセモノ、メッキ、ハリボテ臭がプンプンするのです。クライアント達からの報告を踏まえると昔から現状は変わっていないのかなあとと思います。ここでも同じですが、あまり刺激的、反社会的なコピーに騙されず本質を見抜きながら情報を選別してもらいたいなあという気持ちがあります。

設計図を描く意識

物事を成就させるためには、逆算思考が大事ということは先ほど話しました。目標がありそれを達成するために逆算して設計図を描く。例えば、あなたがエレベーターに乗りたくしましょう。簡単ですよね。ボタンを押してドアを開け入ります。そして、ドアを閉めますよね。簡単なので設計図を説明する必要もないと思いますが、解説すると、目標＝エレベーターに乗る すべきこと (設計図)＝ボタンを押して空いたら入る。入ったらボタンを押して閉じる。

とてもシンプルですよ。では、これを彼女を作るということに置き換えてみましょう。目標=彼女を作る べきこと（設計図）=対象女性の心を開かせる。心に入りこむ。入ったら閉じてあなただけを見るようにする。 でしょうか。同じなのです。要はどこまでシンプルに考えられるかどうかと、シンプルの中に存在する設計図を緻密に描くかなのです。

相手を知る

さて、目標と設計図はわかりました。では、どのようにして設計図を描くかです。エレベーターはボタンを押せば開くことが明白に理解できますが、女性はこうしたら心を開いてくれるかわからないとします。この場合、女性という対象を徹底的に調べる必要があるのです。多くの男性が恋愛で悩んでいて上手くいかない。それは、女性の本質を理解しようとせずに上辺だけのテクニックを学び、それをなりふり構わず使ってしまうからです。女性との関係を上手く構築できるようになりたいのであれば、最も重要なことは女性を学ぶということ。

多くの男性は、男と女は同じ人間だからだいたい同じだろう。と、男目線で全てを考えてしまいます。仕方がないですよ、言葉も通じますし、ある程度男と同じ動作もできる、表面的な意思の疎通も可能ですから。しかし、女性は男は全く違う生き物。むしろ、宇宙人くらいに考えておいた方が良くらいです。思考回路が全く違いますし、人生のゴールも違う。日々の喜びや、悲しみも男と似ている部分はあるかもしれませんが、明らかに違うのです。これを理解せずに女性に歩み寄ったところで当然それはちぐはぐなものになってしまうのです。

なぜ、女性は彼氏をキープしつつ新しい彼氏を見つけるのか

男と女で顕著に違う部分があります。それは、パートナーと別れる時。男性の場合、彼女のこと好きではなくなったときに取る行動は、「すぐに別れて1人になりたい」です。好きでもない彼女とだらだら会ったり食事に行ったりということは、どちらかというとな少ないです。では、女性はでしょうか。かなりの割合で彼氏のこと好きではなくなった状態でも、その彼氏を一応の彼氏としてキープして次の彼氏を探しに出るようになります。そして、彼氏がいる状態で新しい彼氏候補クンとデートを重ね、付き合うことが確定した時点で既存の彼氏に別れを告げます。

なぜ、このような違いが起こるのでしょうか。僕自身さまざまな女性に聞いて裏を取っている内容でもあるのですが、女性は1人になるとランニングコストが増えるのです。男性は1人になった方がランニングコストが減るのです。男性のあなたは、あまりここまで意識して考えたかどうかはわかりませんが、男は彼女のような女性がいると日々のコストがかかります。食事に行くにも2人分を負担しますよね。これが好きな彼女であれば問題ないと思いますが、すでに冷めきっている好きではない女性に対して、自分の命を削って稼いできたお金を払うということになるのです。それが多くの男性にとっては苦痛なのです。

一方、女性はどうかでしょうか。女性は別に好きか嫌いかは関係なくても彼氏であれば自分の分は彼氏が負担してくれます。基本的にほとんどの場合、女性は彼氏といるとお金がかからないのです。だから、嫌いでも彼氏といることは金銭的にメリットがあるのです。なので、多くの女性は彼氏がいたとしても、新しい彼氏ができるまで、現彼をただのキープとして自分の横に置いておき新しい候補ができ、機が熟したと思った時点で過去の嫌だった事象を持ち出し喧嘩をふっかけ、「もう別れる！」と言ってあらかじめ用意しておいた新しい彼氏の元へ去って行くのです。元彼氏は思います。いつもの喧嘩だからそのうち仲直りできると。しかし、時はすでに遅し。周到的な準備をしてわざと喧嘩まで吹っかけてきたのですから、もうここまで来ると戻ることはできません。女性はパートナーに対する許容のボーダーラインというのが存在し、そこを超えるとすでに男としてはみてくれません。一緒に住んでいるのであればお金を運んでくる同居人、言葉を発する生き物くらいにしか認識しません。なんの感情もなくなるのです。なので、男側ができる対策としては、彼女側のボーダーラインを静かに超えてしまう前に自分で深く考察することが求められるのです。

男はひきずる、女は忘れるのが早い？

このような常識が世間でまかり通っていますが、よく思考を凝らせばこの言葉がいかに薄いかがわかることでしょう。男はひきずるとか女性はふっきれるのが早いという問題以前に、先ほど話したことを前提として考えなければいけません。そもそも、女性側から別れを告げられた時、その彼女にはすでに新しい男がいるのですからひきずるわけがありません。新しい彼とのバラ色ライフに酔いしれてウキウキすることはあっても、前の彼氏のことを思い出すことはありません。一方、男はそのように新しい彼女を作ってから現彼女に別れをつけるということではなく、一旦別れて1人になってそこから新しい彼女を見つける活動をしていきます。なので、そもそもの前提が違うわけです。もちろん、彼氏のこと大好きな女性が彼氏側から一方的に別れを告げられた場合、どうなるのか？当然、その女性は大きなショックとともに一定期間は彼氏のことをひきずることになります。

男女の違いを学び、その上で技術を高める

ここまでの話である程度理解してくれたかと思いますが、恋愛で成功するために必要なことはとにかく、貪欲なまでに女性を学ぶということ。女性を学ばないと行動をする上での設計図を組み立てられないからです。そして、設計図がないとどのように行動していいかがわからず、軸のないブレブレな状態で女性と接することになるのです。それだと、いつまでたっても偶然の成功しか手に入れることができず、たまたま彼女ができたという状態が続いてしまいます。

どうせ、男として生まれたのであれば、好きな女性や美人な女性と高い確率で関係を持てる男になってほしいと思います。そして、関係を持った女性を幸せにしてあげてほしいのです。幸せな女性が世に増えることで、我々男たちも幸せになれると思います。女性を学び、成功確率の高いあなただけの設計図を描き、それを達成するためにブレずに、やるべきことを実行し素材を集める。

そうすることで、偶然的な成功ではなく、必然的な成功を毎回のよう
に手にすることができるのです。

田辺祐希